



『イチBizアワード』とは・・・

- 地理空間情報は新規ビジネスの創出やEBPMに基づく課題解決等のイノベーションの源泉となるものであることから、地理空間情報のポテンシャルを最大限活用するためのビジネスアイデアの発掘や人材育成・コミュニティの形成を行うプロジェクト
- 2023年度の地理空間情報を活用したビジネスアイデアコンテスト『イチBizアワード』は、100件の応募の中から、最優秀賞、3つの部門賞等を選定し、11月7日にG空間EXPO会場にて表彰式を開催

募集結果	<p>・「明確なビジネスプランと実現性」と「将来には実現できそうといった自由な発想」の2つの基準で募集し、<u>全100件のアイデアをお寄せいただいた</u></p>										
審査結果	<p>・100件の応募アイデアから、書類審査・動画審査・プレゼンテーション選考を経て、15件の授賞作品を選定 ・その中から最優秀賞1件、3つの部門賞、2つの未来アイデア賞、協賛企業の企業特別賞6件（7社）を表彰 ・さらに表彰式会場にて最終ピッチを行い、観客投票によりオーディエンス特別賞を決定・表彰</p>										
スケジュール	<p>募集期間：令和5年6月19日～8月31日 審査期間：令和5年9月上旬～10月末 結果発表：令和5年11月7日(火) ※G空間EXPO2023会場(東京都立産業貿易センター浜松町館)内で発表・表彰</p>										
有識者審査員	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="273 1054 627 1165"> DBJキャピタル シニアインベストメントマネージャー 石元 良武 氏 </td> <td data-bbox="627 1054 963 1165"> TMI総合法律事務所 新谷美保子 弁護士 </td> <td data-bbox="963 1054 1299 1165"> (一社)コード・フォー・ジャパン 代表理事 関 治之 氏 </td> <td data-bbox="1299 1054 1635 1165"> 東京大学 関本 義秀 教授 </td> <td data-bbox="1635 1054 2224 1165"> MaaS Tech Japan CEO (一社)JCoMaas 理事・事務局長 日高 洋祐 氏 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	DBJキャピタル シニアインベストメントマネージャー 石元 良武 氏	TMI総合法律事務所 新谷美保子 弁護士	(一社)コード・フォー・ジャパン 代表理事 関 治之 氏	東京大学 関本 義秀 教授	MaaS Tech Japan CEO (一社)JCoMaas 理事・事務局長 日高 洋祐 氏					
DBJキャピタル シニアインベストメントマネージャー 石元 良武 氏	TMI総合法律事務所 新谷美保子 弁護士	(一社)コード・フォー・ジャパン 代表理事 関 治之 氏	東京大学 関本 義秀 教授	MaaS Tech Japan CEO (一社)JCoMaas 理事・事務局長 日高 洋祐 氏							
											
協賛企業	<table border="0"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										
											
											

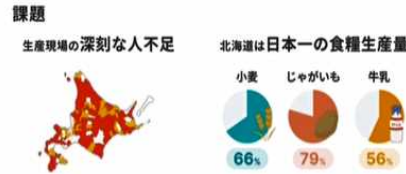


地理空間情報を活用したビジネスアイデアコンテスト『イチBizアワード2023』結果概要 2/3

最優秀賞

レポサク - 未来につなぐ農業DX / 車両と圃場の管理システム エソウィン株式会社・大野 宏

→近い将来、農業生産の現場では深刻な人手不足が現実化する。生産が滞ることで日本の食料危機に。この解決のため、2040年を目処に完全自動化農場を実現し、日本の農業を次世代に繋げることがミッション



→日本の食糧危機

現場に刺さるプロダクトで、データを蓄積

Reposaku

- 独自端末で取得した農作業者の位置情報をリアルタイムに可視化。全体の進捗状況を把握できる
- 導入の簡単さ・誰でも無理なく使える操作性が評価され、50社以上に導入済
- スマート農業技術として国から認定

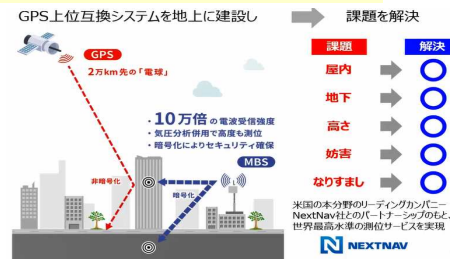
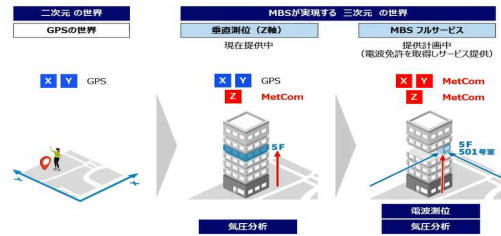
←農作業の位置情報をリアルタイムに可視化するサービスを開発。まだまだアナログな農作業現場に、手軽なDXを導入することで作業効率化を実現。将来は収集データを元に、シミュレーションと自動農機の活用による、完全自動化農場の実現を目指す

農業生産の現場は深刻な人手不足。位置情報を活用した生産効率化を実現し、将来は完全自動化農場を実現。日本の食を支える。

技術基盤部門

屋内外3次元測位可能な地上波測位システムで衛星測位システムを補完し、地理空間情報の利用基盤安定化及び豊かな利用シーン創出に貢献 MetCom株式会社・荒木 勤

→GPSが得意な領域である、屋内をカバーする位置情報インフラとして、地上波測位システムを考案。地上局から発信するため、衛星と比べて電波受信強度は10万倍となり、屋内や地下での測位が可能となる



←GPS位置情報(2次元)に、気圧情報分析を掛け合わせることで建物の階数まで判別可能に(3次元化)。さらに、電波免許を取得し、電波測位による屋内や地下での正確な位置情報を提供する

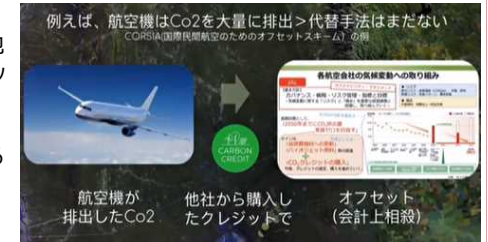
GPS互換の位置情報基盤技術。電波を用いた測位技術により、GPSが得意とする屋内・地下での測位を実現。衛星測位システムを補完する。

脱炭素部門

Carbontribe Labs

Carbontribe Labs OU・矢野 圭一郎、加藤 有希、三宅 沙知子

→カーボンニュートラルが多くの企業に求められるなか、他社がセーブした二酸化炭素量を買取るカーボンクレジット取引に需要。既存の手法だとハイコストで大手しか参入できなかった市場に、クレジット生成のコストを大幅低減することで、中小企業や個人が参加できる市場を創る



←Googleとパートナーシップを結んでおり、Google Earth Engineの衛星データと森林データを掛け合わせ、機械学習を用いたシミュレーターを作成。他社にCarbontribeモデルをライセンス提供することで収益化

多大なコストが見込まれるカーボンクレジット生成を、衛星画像とAIの組み合わせで安価に実現。Co2吸収量を取引可能な価値に変換し新しい経済を創る。

生活安全部門

地理空間情報を活用して、子どもの安全を守るサービス

Adora株式会社・富田 直人

→位置情報に基づき、道路や駅などにおいて子どものスマホ利用を検知し、事前に設定したアプリケーションの利用を制限する仕組み。SNSなど、子どもの注意を引きつけるアプリの利用制限を想定

危険な子どもの歩きスマホを防止

安心して子どもにスマホを渡せる様々な機能

アプリ利用時間をオススメコントロール

SNS上の危険なメッセージの検知

お任せな自撮り検知

位置情報管理 異常ルート検知

歩きスマホの防止 (歩行中のアプリロック)

勝手にアプリ開きや (アンインストール)の防止

- 歩行中は特定のアプリを開けない様に設定
- 開けない様にアプリは自由に選択可能



←その他にも、GPS機能を活用した子どもがどこにいるかリアルタイムでわかるマップ機能、子どもの危険な自撮りをAIが検知/お知らせする機能、子どものアプリ利用時間を管理する機能等を実装

社会課題解決アプリ「コドママ」。グローバルに共通する課題である子どもの歩きスマホ問題に、位置情報を活用して解決に取り組む。



未来アイデア大賞

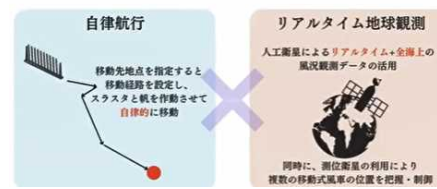
移動式洋上風力発電によるエネルギー供給

東京大学工学部・若本 悠希、田口 新風、松川 純也

→再生可能エネルギーの中で注目を集める洋上風力発電について、船のように移動しながら発電を行う移動式洋上風力発電を提案。**船の自律航行技術の確立、衛星コンステレーションによる風況解析の高度化により実現が可能**

移動式洋上風力発電の実現方法

未来で実装される技術を活用



移動式洋上風力発電の活用方法

海上でのエネルギー供給 海上エネルギースタンド！



←移動型では、水素運搬船や電気運搬船によりエネルギーや原料としての水素を陸上に供給可能。また、海上では、水素燃料運搬船の航路上や海洋開発の現場にエネルギースタンドとして動的に設置することが可能

移動式洋上風力発電と衛星コンステレーションによる風況観測を組み合わせたエネルギーインフラ構想。脱炭素社会での海上エネルギースタンドとして活用。

未来アイデア特別賞

山林を救う。

横浜市立南高等学校・西藤 祐介

→山林全体の3割が所有者不明、そのうち7割は相続されなかったことが原因。所有者不明となった山林は手入れがされず荒れてしまう。一方で、山林の価値に気づいていないケースも

項目	件数	面積 (ha)	割合 (%)	件数	面積 (ha)	割合 (%)
所有者不明	829,168	76,691	103.451	205,772	240,274	
① 相続未了	480,820	66,839	83.491	166,744	172,846	
② 権利放棄	77,493	68,935	90.793	18,028	27,428	
③ 権利放棄済	130,855	12,917	19.956	39,020	67,728	
④ 権利放棄未了	18,352	6,745	12.024	20,410	47,170	
⑤ 権利放棄未了	208,932	144,893	100.000	107,792	148,824	
⑥ 権利放棄未了	1,281	188	25.000	192	716	
⑦ 権利放棄未了	11,092	11,952	10.952	10,952	11,752	
⑧ 権利放棄未了	46,849	6,899	7.681	12,424	19,939	
⑨ 権利放棄未了	10,654	10,654	100.000	448	1,971	
⑩ 権利放棄未了	10,654	10,654	100.000	448	1,971	

所有者不明の山林が多い

⇒山林が荒廃していく



←山林の木や本数を知ることで価値算定するアプリを考案。ドローンや衛星の画像をAIで解析し、樹種毎の市場価値と組み合わせることで、山林の市場価値を地理空間情報に。また、倒木リスクを把握し、倒木事故を減らすことにも活用可能

ドローンや衛星画像からAIを用いて樹種・本数・山林市場価値を地理空間情報として整備。山林価値を正しく把握することで、山林の荒廃防止につなげる。

企業特別賞

受賞アイデア

提供企業

レポサク - 未来につなぐ農業DX / 車両と圃場の管理システム

NTTインフラネット

地理空間情報を利用して、子どもの安全を守るサービス

アジア航測株式会社

地理空間情報を活用したドローンによる鉄道点検管理サービス

J R 東海

OPT√ (オプトルート)

日本郵政キャピタル

山林を救う。

国際航業株式会社
株式会社ゼンリン

災害時ネクストアクション

株式会社パスコ

オーディエンス特別賞

受賞アイデア

山林を救う。



新設のオーディエンス特別賞は表彰式会場で実施した最終ピッチで決定（受賞した「山林を救う。」の西藤氏）